

第7回 コンビナート高度統合研究会 議事要旨

1．日時：平成18年1月26日(木) 15:00～17:00

2．場所：霞ヶ関ビル 33階 東海大学校友会館 富士の間

3．出席者：

伊丹委員長、橘川委員、堤委員、小柳委員、増田委員、齋藤委員、大野委員、原田委員、
高下委員、中川委員、井内委員、箱崎委員、山根委員

4．議題

わが国石油産業、石油化学産業の今後の展開 - 目指すべき方向と提言 -

(1) コンビナート競争力総合評価について

(2) 最終取りまとめの方向性について

5．議事概要

委員からの主な発言は、以下のとおり。

環境負荷については、将来的にみて、特に地球温暖化が重要な課題になってくるという認識があるが、環境負荷低減対策が国際競争力にどの程度影響してくるのかということは十分に見えていない。

炭酸ガス排出削減については、現在進めているRING事業の中でもLNGと組み合わせる中で、CO₂をいかに分離しそれを製品化していくのかという面で、非常に先端的な技術開発をしようとしている。その成果が広がれば、大きなインパクトを与えられられる。

多様な石油・石化の連携・統合を検討し実現していく方向性とタイミングはよいが、将来的には、日本のコンビナートが大消費地に近く、発電プラントが近くにあるという立地を活かし、電力、エネルギー産業との連携も早い時期に実現できれば、海外の先進的なところとの比較においても、日本が優位に立てるのではないか。

石油・石化とその他の産業との連携について、電力、ガス、鉄鋼、セメント、窯業などを一くりにして、その他産業とするのは、無理があるのではないか。電力、ガスといったエネルギー産業とその他の産業というのは少しフェーズが違う。

2010年以降の東アジアの需給がどうなっているかというところの見方がポイントになると思うが、台湾のコンビナートで大型投資が行われるのは、2010年以降についてもやはり物不足が続くのではないかと強気に見ているためと思う。アジアでの供給能力の不足が続くことを予測するなかでは、極力前倒しで多様な石油・石化の連携・統合に関する投資を推進しなくてはいけない。

コンビナートの競争力、産業競争力という観点で見た場合、技術を高めて、いかに付加価値をつけるかということが重要ではないか。石油と連携を深めることにより、原料の調達とかパイプロの有効活用にとどまるのではなく、本当に国際競争力のある高い付加価値をもった商品を開発していく力をつけていかなければならない。

歴史的な背景のあるコンビナートが、企業、業界の壁を越えた連携統合に進むのはそう簡単ではない。組織形態の検討に加え、民間の自発的なインセンティブのなかでまとまり、運命共同体的な統合の形になっていく機運がどこまで醸成されていくのかを含め、変革を進められたらと思う。

これまでのRINGによる技術開発事業をやったおかげで、石油、石化という縦の関係で議論しているうちに、お互いに各コンビナートの横同士の話ができるようになっていく。石油・石化の縦の統合だけでなく、石油業界の横、石化業界の横の連携についても考えておかないといけないのではないかなと思う。

原油の重質化が進めば、日本の石油、石化は競争力が悪くなるのかという問題に関しては、日本の石油産業の競争力が落ちるかどうかなという事は一概には言えず、むしろ石油精製の二次装置の高い装備比率をさらに高めていけば、日本の強さが活かせるのではないかな。今後、重質油に対する処理は、日本の技術として確立しなくてはならないと考える。

ロードマップはゴールが明快であり、そこへどう到達するかということが大切であると思う。コンビナート毎に、そのコンビナートをどうするのかということがあってはじめてロードマップが書かれて、アクションプログラムが書かれるのではないかな。それに基づいて、国や地方の行政が何をするのかというアプローチがあるのではないかな。

中国の最近の石油資源に関する利権の取り方を見ていると、我が国も石油・石化連携統合等の構造改善とともに、早急にその原料となる資源を考えなくてはならないと思う。将来も、今の延長線上で原料が手に入るのかということにも強い関心がある。

以上

コンビナート高度統合研究会名簿

(敬称略)

委員長

いたみひろゆき
伊丹 敬之

一橋大学大学院 商学研究科 教授

委員

きっかわたけお
橘川 武郎

東京大学 社会科学研究所 教授

はせべしんじ
長谷部伸治

京都大学大学院 工学研究科 化学工学専攻 教授

つつみあつし
堤 敦司

東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻 助教授

こやなぎあさむ
小柳 治

日本政策投資銀行 総務部 審議役

ますだたかし
増田 貴司

東レ経営研究所 産業経済調査部長

さいとうじゅん
齋藤 旬

東京大学先端科学技術研究センター 客員研究員

株式会社ニコン コアテクノロジーセンター 主幹研究員

おおのひろし
大野 博

新日本石油精製株式会社 代表取締役 副社長

はらだまさお
原田 征夫

出光興産株式会社 代表取締役 副社長

こうげえつじろう
高下悦仁郎

三菱化学株式会社 常務執行役員〔石化セグメント分担(石化基礎分野)〕

なかがわじゅんいち
中川 淳一

三井化学株式会社 執行役員〔市原工場長〕

いうちけんすけ
井内 謙輔

丸善石油化学株式会社 取締役 技術開発部長

はこざきけいいち
箱崎 慶一

経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部 石油精製備蓄課長

やまねけい
山根 啓

経済産業省製造産業局 化学課長

計 14 名